

③ 60分コース「授業づくり研修」(放課後・長期休業など)

演習編

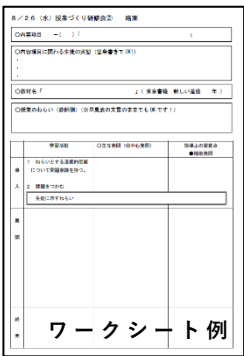
※事前に、5分コースや30分コースの研修で、「基本的な理論」「教師の明確な意図」「学習指導過程4つのポイント」について押さえておく。

		研修内容	ねらいと流れ	
授業を構想する	演習編 1	1時間の授業を構想する	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートブックを活用して実際に授業を構想する。 ・協働による授業づくりのよさを体験する。
			流れ	<p>① (研修会の1週間程度前に) 研修会で扱う教材を指定し、事前に各自で略案を作成する。 ※全体で1つの教材を扱うパターン、学年ごとに1つの教材を指定するパターンなど、学校の実態に応じて形態を工夫するとよい。</p> <p>② 3～4人のグループを作り、各自が持ち寄った略案について意見交換をする。</p> <p>③ グループで1つ、学習指導過程を構想し、略案を作成する。</p> <p>④ それぞれのグループで考えた学習指導過程について情報交換をする。</p> <p>⑤ (研修会終了後) 各グループが考えた略案を印刷し、配布する。</p>
模擬授業を行う	演習編 2	模擬授業を行う	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートブックを活用して構想した授業を体験する。 ・模擬授業で得られた成果と課題を通して、指導の改善について考える。 ・協働による授業づくりのよさを体験する。
			流れ	<p>① 授業者はサポートブックを活用して授業を構想し、略案を準備する。参加教師は教材と略案を事前に読んでおく。 ※60分コース 演習編1で構想した授業を行ってもよい。</p> <p>② 模擬授業を行う。(範読は省略)(40分程度)</p> <p>③ 授業者が自評を述べる。授業構想や実際に模擬授業を行って悩んだことや困ったことがあれば挙げるようにする。(5分程度)</p> <p>④ 参加者全員で意見交換をする。授業者が悩んだことや困ったことについても触れる。(15分程度)</p> <p>⑤ 模擬授業を行ってみて、思ったことや感じたことについて、意見交換をする。</p> <p>⑥ 授業参観カードを記入し、授業者に渡す。</p>

研修会の進め方

(例) 授業づくり研修【60分コース】

演習編 1 「1時間の授業を構想する」

ねらい	サポートブックを参考に、実際に行う授業の学習指導過程を協働で構想し、授業力向上を図る。		
準備物	参加教師：サポートブック，教材，各自で考えてきた略案 進行役の教師：ワークシート，大型提示装置（プロジェクタ，実物投影機など）		
準備	事前に研修会で扱う教材を指定し，各自で略案を作成しておく。		
研修の流れ	時間	活動内容	進行手順
	2分	ねらいと進め方の確認 	「今日は『協働による授業づくり』ということで，事前に考えてきた略案を基に，グループで1つ，学習指導過程を作成します。今から45分間，グループ活動の時間を取ります。グループの中で司会・記録・発表の係を決めて進めてください。記録係の先生はワークシートへの記入をお願いします。○時○分から，それぞれのグループで考えた学習指導過程について，発表してもらいます。お互いに学び合い，より良い学習指導過程を構想しましょう。」
	45分	グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに1枚，ワークシートを配布する。 ・（可能であれば）質問への応答や悩んでいるグループへの声掛けやアドバイスをする。 ・残り時間の声掛けをする。
	10分	シェアリング	「各グループで考えた学習指導過程について，2～3分程度で発表してください。」 (グループ数に応じて，全グループまたは抽出グループに発表してもらう。発表するグループのワークシートをプロジェクタ等で提示できるとよい。)
	3分	感想発表 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加教師数人に感想を発表してもらう。 <p>「今日は『協働による授業づくり』ということで，実際に行う授業の学習指導過程を考えてみました。私たち教師自身が『考え，議論』しながら，授業づくりができたのではないのでしょうか。今日考えた学習指導過程をぜひ実践して，手応えや感想を共有することで授業力向上を図っていただければと思います。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（研修会終了後） 各グループで考えた学習指導過程を印刷・配布する。